

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成29年8月31日(2017.8.31)

【公開番号】特開2016-107110(P2016-107110A)

【公開日】平成28年6月20日(2016.6.20)

【年通号数】公開・登録公報2016-037

【出願番号】特願2016-1032(P2016-1032)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年7月21日(2017.7.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域に設けられた入球口への遊技球の入球を検知する入球口検知手段と、

前記遊技領域に設けられた特別入賞口への入賞を検知する特別入賞口検知手段と、前記特別入賞口を開閉する開閉部材と、前記特別入賞口検知手段の下流に配された特定領域への遊技球の通過を検知する特定領域検知手段と、前記特別入賞口検知手段による検知後の遊技球が前記特定領域を通過するか否かを振り分ける振分部材と、を有する特別入賞手段と、

前記入球口検知手段による入球検知に基づいて当たりの判定を行う当たり判定手段と、

前記当たり判定手段の判定結果が当たりの場合に当たりの種類を判定する当たり種判定手段と、

前記当たり判定手段による判定結果が当たりである場合に、前記開閉部材を開放する特別遊技を行う特別遊技実行手段と、

前記振分部材の作動を制御する振分部材制御手段と、

前記特定領域への遊技球の通過を示す特定の報知演出を行う報知制御手段と、を備え、

前記特別遊技実行手段は、

当選した当たりの種類に応じて、前記開閉部材の開放パターンが異なる特別遊技を実行可能に構成されており、

当選した当たりの種類が大当たりである場合には、複数回の単位開放遊技を特別遊技として行うものである一方で、

当選した当たりの種類が小当たりである場合には、1回の単位開放遊技を特別遊技として実行するものであり、

前記振分部材制御手段は、

当選した当たりの種類に応じて、前記特別遊技中に遊技球が前記特定領域への通過容易な第 1 の作動パターン又は前記第 1 の作動パターンよりも通過困難な第 2 の作動パターンのいずれかの作動パターンにて前記振分部材を制御するものであり、

当選した当たりの種類が特定の種類の当たりである場合には、少なくともいずれかの単位開放遊技にて、前記第 1 の作動パターンで前記振分部材を作動させるものであり、

前記報知制御手段は、

当選した当たりの種類が前記特定の種類の大き当りに基づく特別遊技の実行中に前記特定領域検知手段による通過検知がなされると前記特定の報知演出を行うものである一方で、

当選した当たりの種類が前記小当たりである場合であって、前記第2の作動パターンで前記振分部材が作動される特別遊技の実行中に前記特定領域検知手段による通過検知がなされても前記特定の報知演出を行わないものであることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の遊技機は、

遊技領域に設けられた入球口への遊技球の入球を検知する入球口検知手段と、

前記遊技領域に設けられた特別入賞口への入賞を検知する特別入賞口検知手段と、前記特別入賞口を開閉する開閉部材と、前記特別入賞口検知手段の下流に配された特定領域への遊技球の通過を検知する特定領域検知手段と、前記特別入賞口検知手段による検知後の遊技球が前記特定領域を通過するか否かを振り分ける振分部材と、を有する特別入賞手段と、

前記入球口検知手段による入球検知に基づいて当たりの判定を行う当たり判定手段と、前記当たり判定手段の判定結果が当たりの場合に当たりの種類を判定する当たり種判定手段と、

前記当たり判定手段による判定結果が当たりである場合に、前記開閉部材を開放する特別遊技を行う特別遊技実行手段と、

前記振分部材の作動を制御する振分部材制御手段と、

前記特定領域への遊技球の通過を示す特定の報知演出を行う報知制御手段と、を備え、

前記特別遊技実行手段は、

当選した当たりの種類に応じて、前記開閉部材の開放パターンが異なる特別遊技を実行可能に構成されており、

当選した当たりの種類が大き当たりである場合には、複数回の単位開放遊技を特別遊技として行うものである一方で、

当選した当たりの種類が小当たりである場合には、1回の単位開放遊技を特別遊技として実行するものであり、

前記振分部材制御手段は、

当選した当たりの種類に応じて、前記特別遊技中に遊技球が前記特定領域への通過容易な第1の作動パターン又は前記第1の作動パターンよりも通過困難な第2の作動パターンのいずれかの作動パターンにて前記振分部材を制御するものであり、

当選した当たりの種類が特定の種類の大き当たりである場合には、少なくともいずれかの単位開放遊技にて、前記第1の作動パターンで前記振分部材を作動させるものであり、

前記報知制御手段は、

当選した当たりの種類が前記特定の種類の大き当りに基づく特別遊技の実行中に前記特定領域検知手段による通過検知がなされると前記特定の報知演出を行うものである一方で、

当選した当たりの種類が前記小当たりである場合であって、前記第2の作動パターンで前記振分部材が作動される特別遊技の実行中に前記特定領域検知手段による通過検知がなされても前記特定の報知演出を行わないものであることを特徴とする遊技機である。